

門真市パークイノベーション計画 骨子案

はじめに（背景と目的）

- ・計画策定の背景と目的
- ・門真市パークイノベーションとは
- ・計画の位置付け：緑の基本計画との整合など

1. 門真市の公園の現状と課題

(1) 公園をとりまく門真市の概況

- ・概況（市域の広がり、小中学校区、道路・公共交通機関・河川水路の分布、分断要素となる施設等）
- ・用途地域や密集市街地の状況、人口特性
- ・近隣市における大規模公園（淀川河川公園、鶴見緑地、深北緑地）の状況

カルテ：地域概況

(2) 公園の配置状況

- ・公園の規模（大きな公園、中くらいの公園、小さな公園）
- ・公園の立地特性（大・中・小それぞれの公園の分布・偏在状況）
- ・公園の隣接環境、アクセス性などの特性

カルテ：地域概況、配置状況

(3) 公園の施設状況

- ・公園施設の老朽化の状況
- ・公園の施設状況からみた機能（機能の偏在など）

カルテ：施設状況

(4) 公園の利用状況

- ・利用実態調査の実施概要
- ・利用者数（利用者が多い公園、利用者が少ない公園の存在）
- ・時間帯による利用者層や利用内容の違い
- ・小さな公園の使い分け、市外の公園の利用など

カルテ：利用実態（実態調査結果）

カルテ：市民・子どもアンケート結果

市民WS 意見

(5) その他の関連する事項

- ・関連事業等（旧第一中跡地の活用、小中学校の再編統合など）
- ・公園に準じる機能を有する／連携先となる公共公益施設
- ・公園と併設された自治会館等の地域施設の役割

カルテ：関連計画・関連事業・みどりの資源

2. 公園にかかわる市民ニーズ

(1) 市民ワークショップの実施

- ・市民WSの実施概要
- ・全市域で大事にしたい考え方（基本方針につながるポイント）
- ・地域ごとの特徴的な意見（具体方策につながるポイント）

市民WS 結果

(2) 市民・子どもアンケートからみた市民ニーズ

- ・小さな公園に関するニーズ
- ・大きな公園に関するニーズ
- ・公園でのボール遊びに関するニーズ、など

カルテ：市民・子どもアンケート結果

3. 基本目標・基本方針

(1) 基本目標（案）

（仮）公園もまちも一緒に考えて、みんながもっと楽しめる公園に！

(2) 基本方針（案）

- 基本方針1：多機能化・拡充による公園の魅力アップ
- 基本方針2：大・中・小それぞれの規模に応じて役割を見直し、機能を特化して使いやすい公園づくり
- 基本方針3：公園とまちの資源を一体的にとらえ、歩いて巡りやすいネットワークづくり
- 基本方針4：様々な人が使いやすいルールやしきみづくり
- 基本方針5：安全に、安心して使える公園づくり

4. 基本計画

(1) 基本計画の考え方

※資料 4-2 にて説明

- ・複数の公園やまちの資源（公共公益施設、地域施設など）を一体的にとらえ、公園の機能の配置を検討する。
- ・各公園について、公園の規模や機能、地域特性をふまえ、以下3つの方針を検討する。

各公園の方針	大きな公園	中くらいの公園	小さな公園
多機能化・拡充	◎	◎	—
機能の特化	○	○	◎ [[にぎわい型]or [いこい型]]
用途転換・廃止	—	—	○

- ・公園やまちの資源を結び、歩いて巡ることができる歩行ネットワークの形成を図る。
- ・利活用のルールやしきみづくりを検討する。

(2) 地域ごとの基本計画

※資料 4-3 にて説明

- ・基本的な考え方に基づき、地域ごとの基本計画を示す。
- ・各公園の方針、ネットワーク、各エリアで実施する具体化方策案などを示す。

5. 具体方策

(1) 具体化方策案

- ・基本計画で示す具体方策のリストを示す。

(2) パイロットプラン

※資料 4-4 にて説明

- ・具体方策のうち、先導的な取り組みとして実施する内容を示す。
※パイロットプラン案は<資料 4-4>参照